

(別紙様式1)

令和2年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名：静岡県
農業委員会名：下田市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和2年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

		農家数(戸)	
総農家数		455	
自給的農家数		370	
販売農家数		85	
	主業農家数	30	
	準主業農家数	9	
	副業的農家数	46	
※ 農林業センサスに基づいて記入。			

		農業者数(人)	
農業就業者数		148	
	女性	65	
	40代以下	22	
※ 農林業センサスに基づいて記入。			

		経営数(経営)	
認定農業者		16	
基本構想水準到達者		6	
認定新規就農者		0	
農業参入法人		1	
集落営農経営		7	
	特定農業団体	0	
	集落営農組織	7	
※農業委員会調べ			

	田	畑	単位:ha			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	96	148	-	-	-	244
経営耕地面積	21	27	10	17	-	48
遊休農地面積	11	7	7	0	0	18
農地台帳面積	388	411				799

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会
任期満了年月日 R 4 年 3 月 3 1 日

	農業委員			定数	実数	地区数
	定数	実数				
農業委員数	14	14				
認定農業者	-	4				
認定農業者に準ずる者	-	3				
女性	-	0				
40代以下	-	0				
中立委員	-	1				

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	7	7	5

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	244 ha	39 ha	15.60%
課 題	担い手も増加する傾向は無く、中山間地域である物理的要因や地域性を考慮すると大規模な利用集積は困難である。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 20 ha (うち新規集積面積 1 ha)
	目標設定の考え方: 昨年同様、実績を踏まえた設定
活動計画	担い手の掘り出しと利用権の設定に向けたあっせん活動を実施していく

- ※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入
※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入
※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅲ 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数	R01年度新規参入者数
	0 経営体	0 経営体	0 経営体
	29年度新規参入者が取得した農地面積	30年度新規参入者が取得した農地面積	R01年度新規参入者が取得した農地面積
	0 ha	0 ha	0 ha
課 題	特になし		

- ※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)
※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

参入目標数	1 経営体	参入目標面積	0 ha
活動計画	市農政と連携し、市内農地斡旋等の相談活動を行う。		

- ※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入
※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	244 ha	19 ha	7.80%
課 題	担い手の高齢化及び後継者不足		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成〇〇年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積 1 ha		
		前年度の目標と実績を踏まえて設定した。		
活動計画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)		調査実施時期
		24 人		8月～11月
		調査結果取りまとめ時期 11月～12月		
	農地の利用意向調査	調査方法	農地利用最適化推進委員、農業委員、事務局職員、農地相談員により荒廃農地面積調査と合わせて行う。	
	その他	実施時期		調査結果取りまとめ時期
		2月～3月		3月

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	244 ha	0.1 ha
課 題	現況復旧指導に努める。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の活動計画

活動計画	引き続き農地情報の整備を進め、地区担当委員による農地パトロールを継続して行う。
------	---

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入